

## 今、なぜ&いかに「子育て支援員」?

～ 子ども・子育て支援新制度スタートを機に「子育て支援員」研修制度について考える～

主催:NPO法人あい・ぽーとステーション 助成:住友生命保険相互会社 後援:厚生労働省(予定)・内閣府(予定)

この4月「子ども・子育て支援新制度」がスタートしました。地域の実情に合わせた、子ども・子育て支援事業の拡充に各自自治体に託された役割が大きい時代を迎えました。

すべての子どもの健やかな成長を願うと共に、国を挙げて取り組んでいる女性の活躍推進のためにも、新制度の着実な進捗が期待されています。新制度の成否を握るのは子育て支援の担い手となる人材確保に他ならないと言っても過言ではありません。

新制度発足と共に、厚生労働省から「子育て支援員」研修制度が打ち出されました。子育て支援の人材養成は今や子育て支援にとって必須課題ですが、その具体化をいかにすすめるべきか、期待と共に戸惑いの声も少なくありません。

NPO法人あい・ぽーとステーション(東京都港区/大日向雅美代表理事)では、地域の育児力向上をめざして、2004年から「子育て・家族支援者養成」に取り組み、すでに港区・千代田区・浦安市・高浜市との協働のもと1500名余の支援者が誕生し、各地で精力的に活動しています。

「子育て支援員」研修が、真に子どもたちのため、親たちのためとなるよう、本法人のこれまでの取り組みをもとに、皆様とご一緒に考える機会を持たせていただければと願っております。

新年度が始まってひと月余り、皆さまにおかれましては大変お忙しいことと存じますが、ぜひとも子ども・子育て支援新制度の要の一つである地域の人材養成のために、ご参集いただきますようお願い申し上げます。

特定非営利活動法人あい・ぽーとステーション

代表理事 大日向 雅美(恵泉女学園大学大学院教授)  
理 事 汐見 稔幸(白梅学園大学 学長)

対 象: 都道府県及び市区町村の行政担当者、子育て支援事業関係者 等  
日 時: **2015年5月15日(金)** 13時～16時(予定)  
場 所: 六本木ハリウッドホール(東京都港区六本木)

### プログラム

13:00～13:15	【ご挨拶】 住友生命保険相互会社 代表取締役 専務執行役員 本城 正哉 厚生労働省雇用均等・児童家庭局総務課 課長 古川 夏樹 本法人代表理事 大日向雅美(恵泉女学園大学大学院教授)
13:15～13:30	【行政説明】 「子育て支援員研修制度」(厚生労働省雇用均等・児童家庭局総務課少子化対策企画室 室長補佐 鈴木 義弘)
13:30～13:45	「子育て支援員研修制度」に込められた地域の人材活用への思い 汐見 稔幸
13:45～14:00	NPO法人あい・ぽーとステーション「子育て・家族支援者養成講座」11年間にわたる取り組み
14:00～16:00	パネルディスカッション 「新制度スタートを機に、地域の子育て支援の人材養成について考える」 パネリスト 内閣府・自治体(港区・千代田区・浦安市)担当者ほか コーディネーター 大日向 雅美

### 《NPO法人 あい・ぽーとステーション 法人概要》

2004年から地域に根差した子育て支援活動を行う。港区南青山で、元区立幼稚園の跡地を活用した「子育てひろば <あい・ぽーと>」を主な拠点として、親子が楽しく集う**ひろば事業**のほか、全国に先駆けて**理由を問わない一時保育**を実施。また「子育て・家族支援者」の養成にも注力。一時保育(集団・派遣型)を担う支援者、ひろば利用者を支援する**ひろばコンシェルジュ**、ワンストップサービスの的に相談に応じる**子育てケアマネージャー**、**家庭的保育者**等を養成し、認定後の活動サポートまできめ細かく実施。千代田区では、家庭的保育室(2か所)も運営。さらに、**団塊世代の男性**を対象とした「子育て・まちづくり支援プロデューサー」の養成・活用など、子育て家庭を地域全体で見守り支えることを目指した人材養成事業を展開している。

受 賞 ・日本経済新聞社「「につけい子育て支援大賞」(2007年)  
・内閣総理大臣表彰「子どもと家族を応援する日本」功労者(2008年)

ホームページ <http://www.ai-port.jp/>

今、なぜ&いかに「子育て支援員」  
～子ども・子育て支援新制度スタートを機に「子育て支援員」研修制度について考える～

研修参加申込書

必要事項をご記入の上 FAX もしくは E-mail にてお送りください。

FAX 送信先:03-3499-8539

E-mail 送信先:[station@ai-port.jp](mailto:station@ai-port.jp)

※ メールでお申し込みの場合は、下記の申込用紙の必要事項を全て入力し、  
件名を「**[5/15 今、なぜ&いかに「子育て支援員」シンポジウム 申込]**」としてお申し込み下さい。

ふりがな		性別	年齢
氏名			
ふりがな		所属部課名	
所属機関			
連絡先	〒 ー 都道 区町 府県 市村 電話: FAX: Eメール:		
事業導入相談	希望 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 後日希望 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		

- 申込書を事務局で受理しましたら、1週間以内に事務局より「申込受理」のご連絡をさせていただきます。  
「申込受理」の連絡がない場合は、恐れ入りますが、下記の事務局まで、お電話でお問い合わせ下さい。

<アンケート> ご協力をお願い致します

本講座をどこでお知りになりましたか(該当するものに○を)

1. 自治体からの研修紹介 (どこの自治体ですか?) )
2. 受講生募集のチラシ (どこでチラシをご覧になりましたか?) )
3. インターネット (どこのホームページをご覧になりましたか?) )
4. 知人・友人の紹介 )
5. 新聞・雑誌記事 (どの新聞・雑誌ですか?) )
6. その他 ( )

<お問い合わせ・申込書送信先>

特定非営利活動法人 あい・ぽーとステーション

〒106-0031 東京都港区西麻布2-24-25-509

TEL 03-6657-8539

FAX 03-3499-8539

URL <http://www.ai-port.jp/>

E-mail [station@ai-port.jp](mailto:station@ai-port.jp)

担当:池田・古閑

【個人情報について】

本申込書記載の情報は、弊所にて責任をもって管理します。

研修に関するご案内の送付などの目的にのみ使用し、ご本人の同意無しに他の目的には使用しません。